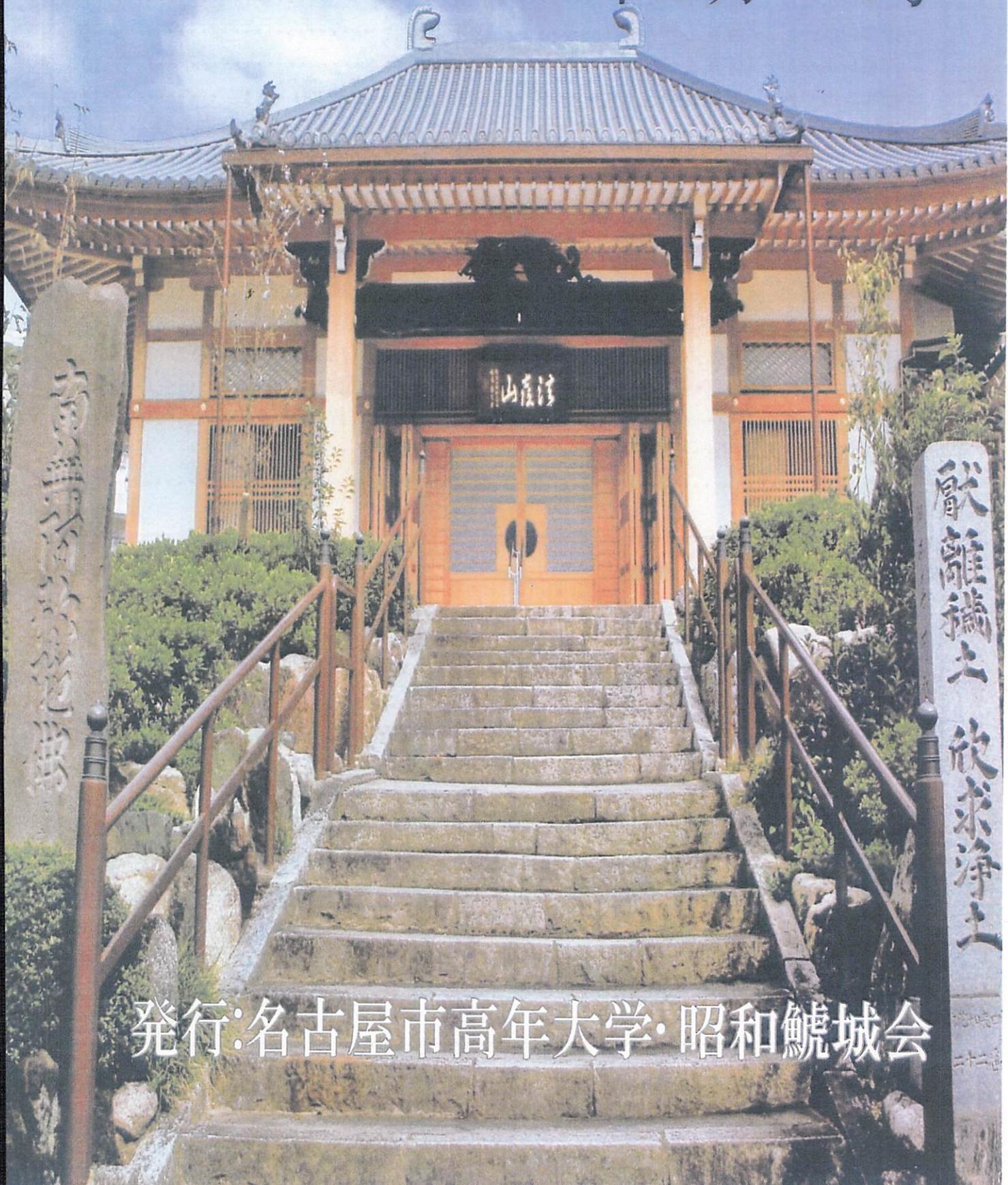


昭和こじょう会便り

2011年12月 66号



発行:名古屋市高年大学・昭和鯉城会

目 次

表紙(櫻 誓願寺)	後藤美恵子 (24期) 陶芸 撮影.....	1
目次・表紙の説明	広報委員・櫻誓願寺.....	2
巻頭.....	櫻誓願寺 住職 近藤 玄城.....	3
昭和鯨城会活動.....	総務委員会	4~5
行事予定(1月~3月).....	行事委員会	6
行事レポート 「福祉まつり」.....	ボランティア委員会.....	7
行事レポート 「趣味の作品展」.....	総務委員会	8~9
行事レポート 「区民まつり」.....	行事委員会	10
行事レポート 「昼膳鵜飼見物」.....	古庄 健治 (22期) 陶芸.....	11
趣味のコーナー	広報委員会	12
(自由投稿) 昭和鯨城会の絆.....	枝廣 啓三 (23期) 国際.....	13
(自由投稿) 名古屋港水族館<ウミガメ>.....	亀井 栄子 (24期) 陶芸.....	14~15
ニュース グランド・ゴルフ交歓会.....	広報委員会	15
(自由投稿)・・・町内全員の知恵と知識を生かしたボランティア.....伊藤 優生 (24期) 福祉.....	16
(クラブ便り) リズム体操	辻 慶明 (17期) 国際.....	17
(クラブ便り) 社交ダンスクラブ.....	奥中 健司 (15期) 健康.....	18
川柳.....	片山 義郎 (17期) 園芸.....	19
俳句.....	石橋 政雄 (17期) 健康.....	19
掲示板・趣味のコーナー答	広報委員会.....	20
編集後記	広報委員会.....	20

～表紙の説明～

「櫻 誓願寺」

浄土宗西山禅林寺派 法喜山陽受院と号す。俗に櫻誓願寺と呼ぶ。久安二年(1146)三論宗の永澄を開基とするが一時廃寺、元龜三年(1572)空範天室が清須に再建し、比叡山日吉神社の神木の桜をもたらす。以来桜の繁茂とともに寺門も隆盛となる。浄土宗となり空範天室を開山となす。慶長年間(1596～1614)清須より名古屋白川町(南寺町)に移る。俗に清須越という。



昭和20年第二次大戦にあい現在地昭和区滝川町に移転する。
 本尊阿弥陀如来は恵心僧都の作と伝える。当山秘蔵の延命地蔵は開山上人の念持仏にて、夢地蔵尊、みがわり地蔵尊とよばれ著名。本堂内陣の天井には尾張徳川家ゆかりの折枝花卉図が描かれている。江戸期の大曼陀羅絵図や大涅槃図が残されている。

櫻誓願寺 住職 近藤玄城

巻頭

「生かされて生きる」

櫻 誓願寺 住職 近藤 玄城

数え歌に「一ツツや 人と生れた幸せは 合わす手のあるありがたさ」とうたいます。有りがたいとはありえないということ。この世に多くの生きもののいる中で生まれがたき人界に生まれ、手を合わせ、仏や人を拝む人となれたことは、前世によほど善行を積んだことか、ありえない不思議な宿縁といわねばなりません。



しかし愚かなことに、生まれたことの幸せさえ忘れ、好きで生まれたわけではないとか、生んでくれとたのんだつもりもないと、一度や二度は父や母に文句を言ったり、愚痴をこぼしたことでしょう。

人は愚かしいことのくりかえし、深いつもりで浅いのが知識、浅いつもりで深いのが欲望、厚いつもりで薄いのが人情、薄いつもりで厚いのが面皮、少ないつもりで多いのが愚痴と申します。それ故私達は大いなる神仏の光明にわが身を照らし、深く自らをかえりみる時人間の苦悩、悲しみ、愚かさを知り、多くのいのちに生かされるこの私に、いのちに限りのあるこの私に、さびしかろうと、つらかろうと生き抜けと力強くはげまされる声をきくことになります。



櫻 誓願寺の菊桜



内陣絵天井

昭和鯉城会活動状況

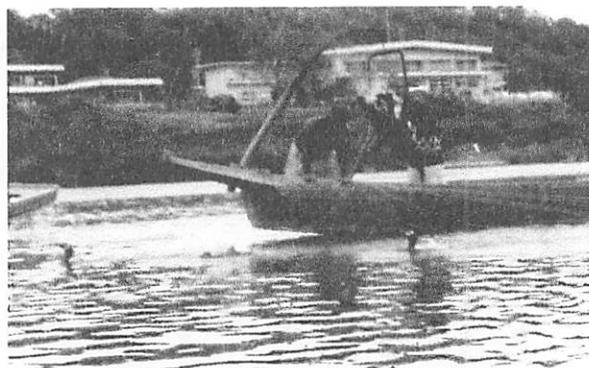
総務委員会

平成23年8月度

- 1日(月) 荒畑昭和鯉城会花壇の水やり (8月度 15回 15名 参加)
 - 1日(月) ゆめ緑道ごきそ川名花壇の水やり (8月度 15回 15名 参加)
 - 2日(火) 鯉城学園図書室管理ボランティア (8月度 5回7名 参加)
 - 4日(木) 鯉城会趣味の作品展実行委員会 (黒岩、石田 出席)
 - 5日(金) 役員会・各委員会開催 (役員、各委員 出席)
 - 9日(火) 昭和区ボランティア連絡協議会研修会 (武田 出席)
 - 16日(火) 昭和区まちづくり研究会 (枝廣 出席)
 - 20日(土) 昭和区福祉まつり会場設営 (武田、城戸 参加)
 - 21日(日) 昭和区福祉まつり (8名 参加)
 - 24日(水) クリーンパートナー(12名 参加)
 - 27日(土) 昭和区埋蔵金探しフィールドワーク (9名 参加)
- 8月度延参加人員:72名(昭和鯉城会会議は除く)



昭和区福祉まつり



昼膳鵜飼見物

平成23年9月度

- 1日(木) 荒畑昭和鯉城会花壇の水やり (9月1日~17日 8回 8名 参加)
- 1日(木) ゆめ緑道ごきそ川名花壇の水やり (9月1日~17日 8回 8名 参加)
- 1日(木) ゆめ緑道ごきそ川名花苗づくり (9月度 5回 10名 参加)
- 2日(金) 昭和鯉城会学区幹事会開催(役員、学区幹事 出席)
- 2日(金) 昭和こじょう会便り 65号発行
- 2日(金) 鯉城学園図書室管理ボランティア (9月度 6回 8名 参加)
- 3日(土) 川名公園森づくり (6名 参加)
- 5日(月) 昭和区区民祭り実行委員会 (服部、大塚 参加)

- 8日(木) 鯉城会代議員会 (枝廣 出席)
 - 9日(金) 歴代会長 20 周年記念行事意見交換会 (歴代会長 10 名、役員 参加)
 - 12日(月) 鯉城会幹事会 (服部、佐藤 出席)
 - 15日(木) 第2回鯉城会GG連絡協議会 (枝廣、大塚 出席)
 - 16日(金) 昼膳鶴飼見物 (20 名 参加)
 - 26日(月) 第6回鯉城会GG大会 (10 名 参加)
 - 28日(水) クリーンパートナー(6 名 参加)
- 9 月度延参加人員:93 名(昭和鯉城会会議は除く)

平成 23 年度 10 月度

- 1日(土) 川名公園森づくり(武田 参加)
 - 1日(土) ゆめ緑道ごきそ川名花苗づくり (10 月度 4 回 8 名 参加)
 - 5日(水) 昭和区区民まつり実行委員会 (枝廣、服部、大塚 参加)
 - 6日(水) 鯉城会合同作品展実行委員会 (黒岩、石田 出席)
 - 8日(土) 昭和区埋蔵金探しフィールドワーク (9 名 参加)
 - 11日(火) 鯉城学園図書室管理ボランティア (10 月度 7 回 9 名 参加)
 - 13日(木) 鯉城会幹事会 (服部、佐藤 出席)
 - 14日(金) 役員会・各委員会開催(役員、各委員 出席)
 - 17日(月) 鯉城会合同作品展実行委員会 (黒岩、石田 出席)
 - 17日(月) デイサービス鶴舞外出の付き添い (伊藤、平野、蓮見、真野 参加)
 - 18日(火) デイサービス鶴舞外出の付き添い (武田、今井、吉田、石田 参加)
 - 22日(土) 昭和区福祉まつり運営と来年の行事 (枝廣 出席)
 - 23日(日) 昭和区区民まつり (15 名 参加)
 - 26日(水) クリーンパートナー(10 名 参加)
 - 27日(木) なごやかハウス福原樹木剪定 (7 名 参加)
- 10 月度延参加人員:77 名(昭和鯉城会会議は除く)



鯉城会 GG 大会



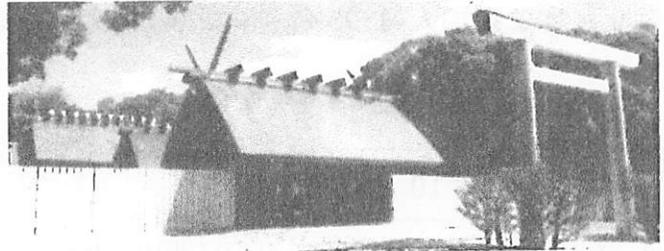
昭和区区民まつり

1月～3月の行事予定 ★★★★★★★★★★★★

【1月】熱田神宮初詣

- ◆ 実施月日 平成24年1月24日(火)
- ◆ 集合場所 熱田神宮境内 第二鳥居お手洗い場前
- ◆ 集合時間 午前10時
- ◆ 記 21期 前田重光氏
によるガイドです。

* 多くの皆様の参加をおまちしています。



【2月】昭和鯨城会創立20周年記念

- ◆ 実施月日 平成24年2月15日(水) 時間
- ◆ 内容 第一部記念式典 第二部講演・アトラクション 第三部記念植樹

【2月】白鳥庭園及び神宮西公園散策

- ◆ 実施月日 平成24年2月29日(水) 雨天中止
- ◆ 集合場所 名鉄金山駅改札口前
- ◆ 集合時間 午前10時
- ◆ 入園料 (一般) 300円 (敬老優待券提示) 100円



《庭園風景》

【3月】トヨタ産業技術記念館訪問

- ◆ 実施月日 平成24年3月23日(金)
- ◆ 集合場所 名古屋駅高島屋
エスカレーター前
- ◆ 集合時間 午前10時出発～13時解散
- ◆ 入場料 一般500円 (敬老優待券提示
にて無料)



行事レポート

昭和区福祉まつり

23期 (美術) 吹上 武田 進

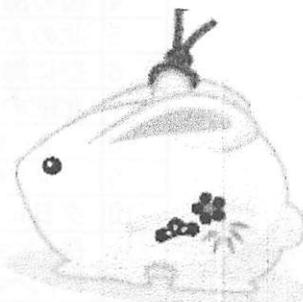
恒例の「昭和区福祉まつり」は、8月21日に開催されました。

当日は早朝から小雨模様で、一時的には、大雨に見舞われましたが、天候の回復とともに大勢の皆様がお見えになりました。

私ども鯨城会は例年通り陶芸科会員の人を中心に、数百個の寄贈を頂いた陶芸品の販売と、陶芸科先輩のご指導のもとに作成した土鈴の絵付教室を開きましたが、特に陶芸品の販売は雨天にもめげず朝からたくさんの方が来ていただき、例年以上の成果を上げることが出来ました。これは売り場面積を広く提供して下さった、当局のご好意に感謝するところであります。

土鈴の絵付教室については朝方は閑散でしたが、天候の回復とともに我々ボランティア委員会の懸命の誘導の成果もあって徐々に増え、絵付けする子供たちが机を囲んで、5,6名が絵付に取り組んでいる例年にない盛況ぶり。売り上げも陶芸品と併せ昨年の15%増で盛況の内に終了することが出来ました。

総体的に見て今回の福祉まつりが東日本大震災を体験して人と人とのつながりが“絆”へと発展していく姿を垣間見ることが出来ました。



第一回 鯨城会 合同作品展 昭和鯨城会

会 期 平成23年11月15日(火)～20日(日)

会 場 名古屋市博物館 ギャラリー2

総務委員会

作 品 作品数 86点(写真22点・陶芸24点・水彩画12点・書11点・刺繍4点・他13点)

入場者 1585名 芳名録 546名の記載

作 品	NO	題 名	学 区	期・学科	出品者名
写 真	1	伝統(新野の雪まつり)	広 路	21期 地域	後藤 崇
	2	伝統(新野の盆踊り)	広 路	22期 地域	後藤 崇
	3	雲海のテラス	広 路	17期 福祉	片山 咲枝
	4	雲の海	広 路	17期 福祉	片山 咲枝
	5	北の大地 花絨毯	広 路	17期 園芸	片山 義郎
	6	空に舞う鯉のぼり	広 路	17期 園芸	片山 義郎
	7	北欧の旅 フィヨルドの村	広 路	23期 福祉	浅井満喜子
	8	〃 白夜のヨットハーバー	広 路	23期 福祉	浅井満喜子
	9	〃 今から結婚パーティー	広 路	23期 福祉	浅井満喜子
	10	夕日に映えるスバル天文台	広 路	18期 健康	小林 久江
	11	岳(ヤマ)クラゲ?	広 路	18期 健康	小林 久江
	12	ミャンマー1	川 原	20期 生活	大館 貞寿
	13	ミャンマー2	川 原	20期 生活	大館 貞寿
	14	ミャンマー3	川 原	20期 生活	大館 貞寿
	15	水連とトンボ	松 栄	21期 文化	清水 敏宏
	16	桜 川	村 雲	24期 陶芸	後藤美恵子
	17	憩いの時	村 雲	24期 文化	横井 純夫
	18	ドレスデン 2011	村 雲	25期 文化	横井 純夫
	19	彩工(さいく)	滝 川	24期 国際	長橋 正幸
	20	有松しぼり祭り(1)	八 事	19期 福祉	余語 司郎
	21	有松しぼり祭り(2)	八 事	19期 福祉	余語 司郎
	22	採 水	松 栄	24期 環境	黒岩 一夫
陶 芸	23	平 鉢	伊 勝	5期 陶芸	廣江 昭二
	24	茶 盤	御器所	22期 陶芸	佐藤 邦利
	25	壺	御器所	22期 陶芸	佐藤 邦利
	26	花 入	御器所	22期 陶芸	佐藤 邦利
	27	花 器	御器所	13期 陶芸	山口 護
	28	水 盤	御器所	13期 陶芸	山口 護
	29	花 生(壺)	広 路	17期 陶芸	小川 幾敏
	30	花 器(1)	広 路	18期 陶芸	古庄 建治
	31	花 器(2)	広 路	19期 陶芸	古庄 建治
	32	花入れ	松 栄	20期 陶芸	梶川 敏男
	33	花 瓶	川 原	16期 文花	荒川 巖
	34	中鉢	川 原	23期 陶芸	福本 浩
	35	うつわ	川 原	18期 生活	篠田 敦子
	36	花入れ(角)	川 原	18期 生活	篠田 敦子
	37	花入れ(丸)	川 原	18期 生活	篠田 敦子
	38	パンケース	滝 川	24期 陶芸	城戸 俊輔
	39	花 器	滝 川	24期 陶芸	城戸 俊輔
	40	花 筒	鶴 舞	24期 陶芸	亀井 栄子
	41	皿	鶴 舞	24期 陶芸	亀井 栄子

作品	NO	題名	学区	期・学科	出品者名
陶芸	42	花器(1)	八事	18期 陶芸	桜井 建郎
	43	花器(2)	八事	18期 陶芸	桜井 建郎
	44	花器(3)	八事	18期 陶芸	桜井 建郎
	45	急須セット	鶴舞	24期 陶芸	吉田加代子
	46	皿	鶴舞	24期 陶芸	吉田加代子
油彩画	47	風景	吹上	23期 美術	武田 進
	48	春の湖畔	川原	16期 文化	荒川 巖
水彩画	49	日本庭園	松栄	20期 美術	岩竹 秋子
	50	夏の日	松栄	20期 美術	岩竹 秋子
	51	二月堂参道	吹上	18期 美術	杉本 仁
	52	伏せ目の女(ひと)	吹上	18期 美術	杉本 仁
	53	風景	吹上	23期 美術	武田 進
	54	駆け込み寺	川原	20期 生活	奥中さと子
	55	港	村雲	24期 美術	石川 和彦
	56	静物	村雲	24期 国際	石田 孝司
	57	御嶽山	鶴舞	15期 文化	勝野 弘之
	58	集落へ	白金	20期 美術	奥村 勇雄
	59	ダリア	八事	14期 文化	谷口千鶴子
60	時代	八事	14期 文化	谷口千鶴子	
日本画	61	いやしの里から見た富士	八事	15期 文化	岡田 和雄
	62	河口湖から見た富士	八事	15期 文化	岡田 和雄
鉛筆画	63	思い出の詰まったキャンプコンロ	村雲	24期 国際	石田 孝司
クレパス画	64	トリックアート「娘と老婆」(ヒル)着色	鶴舞	20期 美術	渡辺 晴朗
パステル	65	秋	伊勝	18期 美術	後藤 昇三
書	66	静夜思	八事	17期 福祉	小川 博三
	67	雲	広路	15期 生活	市村とよ子
	68	五言句	川原	9期 園芸	粟田 龍彦
	69	一竿風月	松栄	24期 園芸	小杉 武良
	70	黄庭堅「松風閣詩巻臨」	伊勝	21期 園芸	新堂 律子
	71	千の風になって...	松栄	24期 園芸	小杉 武良
	72	おもしろき事も...	松栄	24期 園芸	小杉 武良
	73	玉楼巢弱水翡翠	広路	24期 文化	前田恵美子
	74	小倉百人一首 逢坂の関	広路	16期 文化	佐治 正夫
	75	仁義	川原	9期 園芸	粟田 龍彦
76	武蔵詞(うた)	広路	22期 園芸	高木 弘二	
俳句	77	無題	広路	17期 環境	石橋 政雄
短歌	78	無題	広路	17期 環境	石橋 政雄
	79	無題	村雲	24期 文化	今井紗代子
紙細工	80	連鶴	御器所	19期 福祉	酒井 昭彦
			御器所	18期 生活	遠藤 久子
			御器所	18期 文化	佐々木久子
タペストリ	81	夢の世界	広路	13期 生活	高瀬みちよ
和紙工芸	82	桃	広路	24期 環境	黒岩 一夫
刺繍	83	ミニ屏風 春	八事	14期 健康	國松 篤美
	84	〃 夏	八事	14期 健康	國松 篤美
	85	〃 秋	八事	14期 健康	國松 篤美
	86	欄間額 "翁"	川原	19期 園芸	中村ハル子

行事レポート

昭和区区民まつり

24期（文化A） 村雲 横井 純夫

今年の夏も猛暑の日が続き、例年になく暑いというよりこれが通年になりつつあります。

また、東日本大震災あと日本各地に大雨が続き、大変な被害をもたらしました。スコール的な局地的な雨とか猛暑など、日本列島が亜熱帯化している感すらあります。

10月23日(日)は、天気予報によれば晴れとのことで、当日9時前に名工大の駐車場から会場設営に向かう途中、突然スコール的な雨に見舞われ、思わず軒下に避難しましたが、その後雨は止み会場設営を予定通り行いました。

スケジュール通り10時よりオープニングパレードでお祭りが開催され、すでに会場にはたくさんの方が各コーナーを見回っておられました。



昭和鯨城会のブースは、鶴舞公園の会場正面入り口前おあそびコーナーの中に設けられ、お客さんが行き帰りする通り道で抽選会の会場も近く、絶好のロケーションでした。

会員のみなさんが作成した素焼きの土鈴と陶芸会員の自主提供による陶器（花瓶、茶碗、ぐい飲み）等のなかなかの傑作品を、よりどり100円でチャリティー販売し、その売上げは昭和社会福祉協議会へ寄付しました。

土鈴の絵付けに参加した人達はほとんどが幼児と小学生で、多彩なカラーを使う子、一色で仕上げる子、みんな真剣な顔で絵付けに挑戦していました。

ラッカー仕上げしてお渡しすると、その出来栄えに本当に満足して帰られました。また、陶器を購入された女性の方は、区民まつりに来る目的は、このブースで陶器を手に入れるため、毎年来ますと言っておられました。

終日多くの方に立ち寄っていただき、土鈴コーナーは満席状態で、陶器と土鈴あわせて120点弱のチャリティーをいただき、今年も来場者の方々に喜んでいただけました。

この行事を企画、運営、協力されました会員のみなさま本当にご苦労様でした。

昼膳鵜飼いを体験して

22期 (陶芸) 広路 古庄 建治

暑さが残る、9月16日(金)名鉄名古屋駅改札口前に集った20名は、10時23分発快速で犬山遊園駅へ出発しました。およそ30分で到着、駅を降りると日本ライン木曾川下りの看板が・・・歩いてすぐに船着場が目に入った。暑さを逃れるため、待合室で定刻まで待つことになる。

乗船の時刻となり、川へ下りると目の前に屋形船が、私たちが待ち受けていた。テーブルには二重箱の昼食が用意されていて、船頭さんの説明のあと、舟は動き出し持ち込んだビール・酒で乾杯し宴が始まった。料理は鮎の塩焼きと揚げ物・フルーツ等盛り沢山で残す人もあり、大満足の昼膳料理である。

船頭さんに聞くと水深は4m位あり名古屋にも送水されている上水取水口付近は、15mの水深とのこと。鵜飼いでとった鮎は非常に美味しいそうで市場では2倍の値段が付き、これは陸の上で絞めると、魚がもがいて脂が抜けるそうで、鵜が捕った鮎は川の中で生きた状態で飲み込み瞬間に急所を噛むから鮮度がいい、脂もタップリでここが違うと教えてくれた。『彼の話鵜呑みにしたらアカンで』と言いますが、ここから言われるようになったと、聞かされ成る程とガッテンした。

川面は手を出せば30センチで届く、心地よい川風に吹かれて鉄橋をくぐると、国宝三大名城犬山城が見えてきた。やがて、突然鵜匠が乗った舟が、近づき鵜を操り二隻の屋形船も加わり、鵜が鮎を口にくわえる度に大きな歓声が沸き起こり、日本の伝統漁法の鵜飼いが目の前で始まった。

しばらく鵜が鮎を捕る様子を見学したあと、鵜舟を岸边に静止し、鵜匠が木曾川鵜飼について説明が行われた。

期間は6月1日～10月15日迄あり、昼膳うかいは11時30分発1回、夜間は6～8月は18時00分発と9～10月は17時30分発1回です。

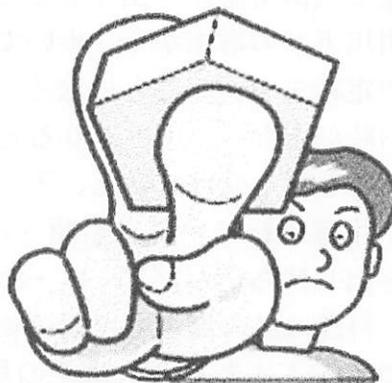


岐阜市並びに関市の長良川における鵜飼いは1300年の歴史があり、鵜匠は宮内庁式部職である。ちなみに木曾川は市職員である。現在、全国で13ヶ所の川で鵜飼いが行われている。舟は全長13mあり、鵜匠は10本の縄を操り、船頭・なか乗り・とも乗り計3人で披露される。今回初めて日本の伝統文化を觀賞し楽しい一日でした。

趣味のコーナー

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							科	一
					飛	角	王	皇
						卒		三
			笛				卒	四
								五
								六
								七
								八
								九

■持駒金



- A. 30秒で四段
- B. 1分で三段
- C. 2分で二段
- D. 5分で初段
- E. 時間無制限で解けたら2級

- Check
- 1回目
- 2回目
- 3回目

回答は最終頁にあります

Hint 5四の馬はおとりです。



	6		3	9		8	
9				7			5
		5				3	
3			2	4			8
	4					6	
5			6	8			7
		9				2	
4				8			1
	3		1	7		5	

昭和鯨城会の絆づくり

23期 (国際) 八事 枝廣 啓三

月日の経つのは早いもので会長に就任致し半年以上経過致しました。4月の総会で会長の大役を任じられ、体調の余り良くない私が、非常に重い任務の会長職を承り遂行出来るかどうか非常に不安でした。

しかし各関係団体及び昭和鯨城会会員の皆様の一方ならぬ御協力により今日迄恙無く業務を遂行する事が出来ました。関係者の皆様にお礼申し上げます。



昭和鯨城会の先輩諸氏が20年かかり、つくりあげて来られた色々な事を大事にし、書面に整理、後世に残して行く様努力いたすつもりでいます。

昭和鯨城会の良いところは先輩の皆さんを含め、皆さん非常に親切で、お願いをすると大抵の事は聞いて頂けるので私としては非常に助かっています。有難う御座います。

先日私のクラスの友達がいる他区の趣味の作品展を見に行つて来ました。会場に入った瞬間企画段階から皆なで協力し楽しく作品展を行なっているという感じを強くもちました。

昭和鯨城会作品展の企画は総務委員会だけで実施していますがもっと皆でやった方が良いのかなとも思っています。実施担当の決め方にも問題があるかと思ひます。

昭和鯨城会の役員会は月に1回実施され19名が出席していますが、会長の私が30分程度発言をし、役員の方5名が一人約5分程度発言し、他の人の発言は少なく、約一時間が経過し終了致します。

それから総務、広報、行事、ボランティア各委員会別に会議が開催され約一時間で会議は終了致します。これだけでは人と人の絆を作る事はなかなか難しい。

そこで昭和鯨城会の人と人の絆をもっと強くし、お互いに助け合いの出来る形を作つて行きたいと考えています。それにはまず二つの事を進めて行きたいと思ひます。

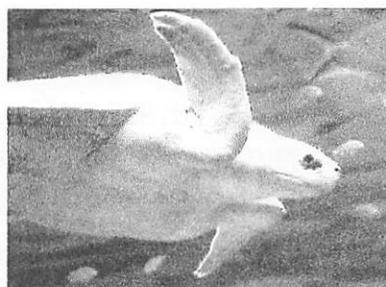
一つ目は学区幹事を中心にして、各学区で学区集会を月に一回程度開催して頂きたいと思ひます。場所は近くの喫茶店でも良いと思ひます。役員、議題等も決めることも無く近くの人達が集まり何でも良いので世間話をし、人と人の絆づくりが出来れば良いと考えています。今、学区集会を開催している学区は広路学区、白金・村雲が学区合同、八事学区と11学区中4学区が開催されています。場所は全て近くの喫茶店で開催されています。

二つ目は趣味の同好会の会合を増やして行きたいと思ひます。現在昭和鯨城会の同好会は三つしか無く16区の内が一番少ない。昭和鯨城会の中にも色々な事が出来る人が沢山居られます。同じ趣味をもつ人が集まり楽しい同好会を結成し、人と人の絆づくりが出来ます様有志の纏め役の方が居られましたらお願い致します。

名古屋港水族館<ウミガメ>

24期 (陶芸) 鶴舞 亀井 栄子

2年前より、水族館のボランティアに縁ができた。とい
っても、生き物が大好きだった訳でもなく、勉強もして
ない。こんな私が務まるものか不安であった。
素人の私自身、水族館の研修は“目から鱗”の日々です。



ウミガメの研修より

1. 5,6月雌ガメが砂浜に産卵に上がる。産卵場所を吟味し、後ろ足で穴を掘り、そこにピンポン玉様な卵を約110個位産卵する。
この雌ガメが2週間後、又産卵する。昨年は同じ雌ガメが5回産卵した。
このカメは水族館生まれの2世アカウミガメです。
名港水族館では、16年連続ウミガメ産卵に成功していたが、今年は産卵なく記録は途絶えた。残念。
2. 産卵約2ヵ月後、卵の殻を口先の卵歯で破り孵化する。
たまたま、研修日の未明卵の孵化があり、孵化した子ガメにタッチの機会を得た。孵化数時間の子ガメは黒く、殻を破った口先の卵歯が出ている。
前足をばたつかせ、甲羅も私の腕の内側のように柔らかい。孵化二日目の子ガメの甲羅にも触れ、腕の外側の感触、違いを知る。
自然界では、孵化した子ガメは同産卵の子ガメ達を待ち、集団で一斉に海をめざす、天敵から少しでも回避するため。苦難の果てやっと海にたどり着くが、大海原の天敵真中、食物連鎖、サバイバルである。
3. 孵化した子ガメの大きさは、甲の長さ4cm、重さ20g位、1年水族館で飼育すると甲は20~25cm、重さ1.5~2kgに成長する。
卵を海浜の産卵場の雌ガメ同様穴を掘り、卵の上下を確認の上、埋める。
子ガメの海浜へ放流。
1年カメは発信機を取り付け放流、行動経路を調査する。
日本の海岸で放流したカメは、太平洋を黒潮に乗り、ハワイ、アメリカ西海岸、メキシコで発見される。アメリカ、メキシコでは孵化無し。太平洋を時計回りしている。親ガメに成長、巣立った日本の海岸で産卵する。
カメ水槽で回遊している成体カメ(甲80cm)になるには7~8年。親ガメになるには11~12年。子ガメから成体カメに生き残れるのは1/5000位。

4. 名港水族館には、三種類のウミガメがいます。
- a. アカウミガメ (温帯気候) 頭が大きい 甲がハート型体色赤茶
(食物) 雑食—いか、蟹、海藻、魚など
- b. アオウミガメ (亜熱帯) 頭が小さく丸い 甲が卵型
(食物) 海藻—水族館はレタス、キャベツ
- c. タイマイ (熱帯) 頭小、鷹の様鋭いくちばし 甲瓦様に重なる
(食物) 海綿 いか あじ 海藻など
5. 近郊の浜でウミガメ等の死体があると水族館で解剖。調査、保存する。
胃の中、肺の中には人工物がいっぱい詰まっている。(ビニール袋、ビニールロープ、発泡スチロール、ペットボトル、漁網の端切れ、プチプチ、等現代生活用品 120種に及ぶ)

海に限らず、ごみの始末特に人工物の汚染は、生き物の保存、地球の将来のため不安、心したい。生命、地球を守ろう。

ニュース

第6回鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会報告

広報委員会

- * 昭和鯨城会からは11名参加し、Dゾーンで武田 進氏が優勝されました。結果は下表のとおりです。

第6回グラウンド・ゴルフ交歓会成績表

平成23年9月26日(月) 会場 鶴舞陸上競技場 2ラウンド(16ホール)

順位	氏名	区	1打回数	2打回数	合計打数	備考
優勝	高柳 稔	名東	1	8	36	Aゾーン
準優勝	坂倉 四郎	中川	1	4	40	
3位	白垣 龍一	東	1	4	40	
4位	大槻 義壽	緑	1	3	40	
5位	福永 光子	西	2	1	41	
優勝	伊藤ヤス子	北	4	3	31	Bゾーン
準優勝	遠藤 昌己	中川	2	5	34	
3位	坂東 文夫	北	1	6	40	
4位	工藤 幸久	千種	1	5	40	
5位	洞谷 弘行	中川	0	10	40	
優勝	山田 正一	西	2	6	36	Cゾーン
準優勝	杉野 博	名東	1	7	38	
3位	中村 文子	中村	1	5	39	
4位	櫻井 健	熱田	1	6	40	
5位	陸浦 幹雄	西	1	5	40	
優勝	武田 進	昭和	2	7	36	Dゾーン
準優勝	山崎昭一郎	緑	1	6	38	
3位	畑佐 民定	南	2	3	39	
4位	大広 幸雄	瑞穂	0	6	39	
5位	横井 清成	熱田	1	4	40	

自由投稿

町内全員の知識と知恵を生かした

ボランティア

24期(福祉) 白金 伊藤 優生

良き社会人を目指して、誰もが誰かの力になれる思いやりの心、いたわりの心、そして生涯青春の思いで新たな出逢い、ふれあいを大切に高年大学設立の趣旨、高齢者の生きがいづくり、地域活動の核となる人材の養成を目的として設立されているように、中高年が地域で活動することで地域社会が活性化すると期待されています。

公園の清掃、道路のゴミ拾い、寄せ植えで花いっぱいの花壇づくりなど、積極的な社会参加、楽しめる余暇活動を続け一人、一趣味、一行事、を願いたいものです。

ボランティアに希望と夢を求めどんなに忙しくても、新たな出逢いふれあいを基に対話する工夫を念頭にその場から新しい価値が生み出され毎日楽しく生きる喜び、毎日が生き甲斐のあるように生きたいものだが、時には機械に潤滑油が必要なように、人間関係にも潤滑油に代わるものが必要かと思えます。それは一人ひとり色々であります。旅行に、スポーツに自分に合った趣味に身を入れて行動するうちに情熱と生きがいを感じる昨今です。



今から数十年振り返るとき、出逢いやふれあいを大切に住みよい安心で安全な町内の子供から高齢者まで立場や世代を超えて自分たちの地域をより良くしていくために、そこに住んでいる人がお互いに協力し合うことの必要性。いざという時にお互いが助け合えるように日頃から町内会活動を通じて、ふれあいの輪を広げることが大切です。

この出逢いふれあいを大切に住みよい街づくりの為の活動として、子供主体のバーベキュー(児童公園にて現在は大人が主)、キャンプ又年末には餅つき等により親睦を深め一人ひとりの価値観、常識に差がありますが、いつも自分の物差しで問題を判断するのでなく、お互いが気持ちゆとりを持って対話をし、行動することに思いやりの心、いたわりの心が育ち親子とのつながり、祖父母とのつながり、近隣とのつながりを大切に親から子へ、子から孫へとつなげることにより地域に大きな財産として蓄積された事と思えます。

この町内の小さな行事活動で、絆、団結が生まれボランティア精神が生まれたと思う今日この頃です。

クラブ便り

リズム体操クラブニュース

17期 (国際) 八事 辻 慶明

毎週水曜日 13時 15分より 90分間昭和スポーツセンターで、西川先生、大塚先生、後藤先生の指導の下、リズム体操を行っています。今回はその大枠を報告します。

最初は『準備体操』これは身体のウォーミングアップの為、笑いも交え心もほぐしながら約 20分位行います。次に『連功 18法』これは中国の新しい国家公認体操の一つとされている医療保険体操です。中国と西洋の医学の結合でストレスや慢性病に良いといわれています。これも約 20分位。休息 5分。この間に水分補給をする。



後半スタートは『各種リズム体操』20分・きよしのズンドコ節、桜、いい湯だな、など軽快なリズムに合わせて、タオル、風呂敷、ゴムなどを使い楽しく飛び跳ねています。最後は『ストレッチ』20分・ストレッチは普段使わない筋肉を伸ばしたり、縮めたりしながら、美しい姿勢を保つべく頑張っています。

さて恒例の親睦会を 11月 2日(水)に開催しました。何と 112名の方々が出席され賑やかに進行事が出来ました。

今年は昭和鯉城リズム体操クラブ発足 10年を迎える事でもあり、全員が顔を合わせ集える場所、交通の便が良い、椅子席である等々を考え、上前津のローズコートホテルに決め、下見・交渉等すべて可児島副会長に仕切ってもらいました。会場はテーブル 12個で 1テーブルの椅子席は約 10人掛け、班別に着席して頂けるように配慮しました。

可児島さんの司会で始まり、辻会長の挨拶、近藤勇雄顧問に乾杯の音頭をとって頂きスタートしました。料理は日本料理『比翼』で温かい料理が程良い間隔で運ばれ、談笑の輪が広がり、酒を酌み交わしながらの対話の花が咲いていました。服部正雄事務局長の司会で余興が始まり、近藤良雄さんの詩吟、岡村不二子さん、近藤洋子さんの民謡舞踊等日頃の練習の成果が見える素晴らしい芸能に触れ全員大喝采で大変盛り上がりました。

その後、福引抽選会があり、特別賞の方々へのインタビューで笑わせ、笑いや歓声とともに楽しいひと時を過ごし、その後時間一杯カラオケを楽しみ大いに盛り上がりました。14時 30分田中監査役の中締めにより無事終了しました。

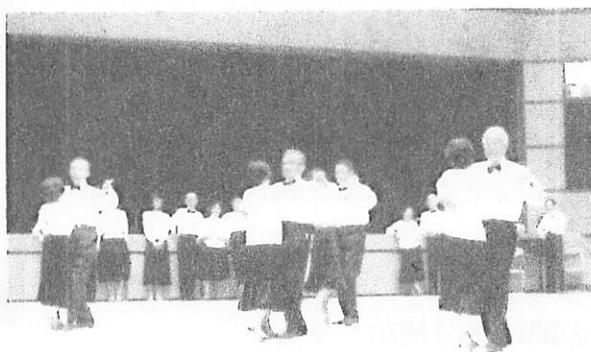
この会の為にお手伝い下さった 23期、24期の皆様、本当に有難う御座いました。

社交ダンスクラブ ニュース

「秋季発表会」

20期（福祉）吹上 野間 清孝

恒例の社交ダンス秋季発表会が10月30日（日）9:30～16:00 昭和区役所 2F講堂ホールにて開催されました。我がダンスクラブも積極的に参加して会場を盛り上げました。



当クラブでは月2回第1第3日曜日に9時～11時30分まで昭和スポーツセンター軽運動室にてモダン系とラテン系のダンスレッスンを行っています。その成果を発表するため2種類をエントリーしました。

まず前半の演技種目はモダン系の「タンゴ」です。名曲「夜のタンゴ」に乗って切れのある踊りを披露しました。ダンスは音楽が非常に重要でリズムづくりと気持ちを高揚させる効果があります。

さて後半の演技種目はラテン系の「チャチャチャ」です。「日曜日はダメよ」の曲に乗ってテンポの早い動きで踊りました。



今回の発表会には8つのダンス教室の会員が17の種目を演技しましたので会場内は熱気ムンムンでした。会員日頃の練習成果を充分発揮して無事終了しました。

川柳

十七期 (園芸) 広路 片山 義郎

同窓会八十路は最後と泣き笑い

追憶の隅に恩師の影法師

現姓は全然出ない同窓会

食べ物になかった話が出る同窓会

あの人に逢へ生きててよかった同窓会

お詫びと訂正

「昭和こじょう会便り」六十五号(九月号)の短歌に間違いがありました。作者並びに会員の皆様に謹んでお詫び申し上げます。正しくは次のとおりです。

今一度しかと見たきは ふるさとの夕日夕雲

うつる田の面

おのづから生うる深山の山ざくら

まばらな花を瓶に差し込む

俳句

犬山 十七期(環境) 広路 石橋 政雄

秋天や天守見上げつ鵜飼船

秋風に揺るる提灯屋形舟

鮎を食む木曾川下る川遊び

秋の鵜の舳先に立ちて羽広げ

何処より群がる鳶や秋鵜飼

手繰られて拒み羽搏く秋の鵜は

黒煙を挙げるや秋の昼鵜飼

秋あはれ船頭投ぐる鮎を追ひ

涙目の秋の鵜人を疑はず

木曾川の澄む水入るる取水口

